平成28年3月7日
第2回　新潟市橋梁
アセットマネジメント
検討委員会　資料

資料1

新潟市道路橋の維持管理　基本方針（案）
～戦略的な維持管理体制への深化～

1　新潟市の道路橋の概要と維持管理の現状と課題

（1）現状及びこれまでの取組
- 市管理道路橋は、約4，100橋（内訳は右表参照）
- 高齢化の進行による維持管理費の増大や、更新期のピーク到来が予見される中、『新潟市橋梁長寿命化修繕計画』を策定（平成22年度）
- 平成23年度から「健全度」＋「管理区分」に基づく計画的な維持管理に着手

（2）『新潟市橋梁長寿命化修繕計画』策定後の運用上の問題点
- 厳しい財政上の制約や現行の発注形態等に起因する、進まないメンテナンスサイクル
- 道路法改正に伴う、全ての道路橋を対象とした近接目視点検による費用増大
- 足場設置など準備工に時間を要することにより、年度末に集中する修繕工事
- 点検結果のバラツキ、年度末の修繕工事集中による品質確保上の懸念
- 懸念される沿岸部特有の飛来塩分や凍結防止剤の影響への対応　　など

新潟市の管理橋梁　約4,100橋の内訳

大規模橋梁 L=15m以上	約650橋 （16%）	
小規模橋梁 L=15m未満	約3,450橋 （84%）	5m以上15m未満 約1,150橋 （28%） 5m未満 約2,300橋 （56%）

2　対応すべき課題

4，100橋の近接目視点検
- 点検結果のばらつき
- 全橋梁点検義務化による点検費の増大
- 全橋梁点検義務化による点検者不足

要対策橋梁の修繕が進まない
- 施工時の新たな損傷の発見
- 修繕費の増大

橋梁の老朽化進行
- 寿命を迎える橋梁の増加
- サビ対策

その他
- 年度末の工事集中
- 冬期間の品質確保の手間増大

3　基本方針

（1）基本方針

現行の『新潟市橋梁長寿命化修繕計画』をベースに、効率的かつ実効性のある維持管理計画及びマネジメントシステムを確立し、**戦略的な維持管理体制への深化を図る。**

○　橋梁ごとに「維持管理シナリオ」を導入し、維持修繕のメリハリを強化
○　サビ対策を考慮した維持管理の構築
○　包括的な契約方式を導入したマネジメントシステムの確立による
- 修繕速度の向上と、事後保全から予防保全中心の維持管理への速やかな移行
- 年間業務の平準化（工事閑散期4～6月の活用）と品質向上

（2）進め方

○　現行の計画見直し
→　「維持管理シナリオ」など、効果的な維持管理手法等の詳細な検討と、現行の計画への反映

○　社会実験（モデル事業）及び効果検証を踏まえた段階的導入
→　包括的な契約方式を導入したモデル事業の設定と、社会実験の実施、効果検証したうえでの段階的な導入（社会実装）

橋梁維持管理計画の詳細計画・モデル事業の詳細検討　▷　社会実験　▷　効果検証　▷　段階的な社会実装

↑（H28年度中）　（H28年度末～H30年度上半期）↑　↑（H29年度下半期～H30下半期）

4　橋梁維持管理計画の見直し方針

○　新潟市橋梁長寿命化修繕計画の策定から5年が経過し、顕在化した課題を踏まえ維持管理計画を検討する。

戦略的な修繕計画の策定
- 現行計画の「健全度」と「管理区分」に対し、「維持管理シナリオ」を加えて維持管理水準※1や対策水準※2を定め、中長期を見据えた5箇年の短期事業計画を策定する。

⇒　修繕計画のメリハリ強化と精度向上を図る。

効果的な維持管理の推進
- 水洗いなど新たな効果的な維持作業により、橋梁に付着した塩分などを洗い流し、長寿命化を推進する。

⇒　橋梁更新時期の先送りや更新費用の平準化、低減を図る。

点検・診断体制の強化
- 新たに「（仮称）健全度審査会議」の設置、点検要領の改訂を行う。

⇒　点検結果のばらつき防止、評価の精度向上を図る。

5　モデル事業の社会実験方針

○　修繕速度を上げて、事後保全から予防保全への速やかな移行を図る。
○　工事閑散期（4～6月）の活用により、年間業務の平準化、工事の更なる品質向上を図る。
○　点検者不足の解消とコスト削減を図るモデル事業の効果検証。

事後保全脱却モデル
- 工事と設計をセットで、複数年、複数橋梁の包括的契約を行う。

⇒　施工時の新たな損傷発見時など、時間的・費用的な効率向上により、要対策橋梁の修繕事業の速度向上を図る。また、年間業務量の平準化や、工事の更なる品質向上につながる。

長寿命化推進モデル
- 点検と工事、維持作業をセットで、複数年、複数橋の包括的契約を行う。

⇒　水洗いなど細やかなメンテナンスを実施し、長寿命化を推進する。

小規模橋梁の点検モデル
- 地元建設会社などによる複数年、複数橋の小規模橋梁の点検を実施する。

⇒　点検者の確保を図るとともに、業務をとおして地形地物に精通し、災害時の対応力強化を図る。

※1 維持管理水準：　橋梁に要求する性能の水準　　※2 対策水準：　橋梁の機能を回復させる水準